

ハイドンの楽しみ

第2回 楽長ハイドンの初期交響曲

声変わりのためシュテファン寺院少年合唱団を放逐され、17歳ころからフリーランスの音楽家を続けていたハイドンは、27歳ごろまずボヘミアのモルツィン家の楽長となり、ついでハンガリー随一の貴族、エステルハージ侯の副楽長に就任します。

第2回は、この時期の交響曲から、第1番、第6番「朝」、第22番「哲学者」、第30番「アレルヤ」など、さらに楽団のコンサートマスターのためのヴァイオリン協奏曲、そして後年のザロモン交響曲から第101番「時計」を聴きます。



我孫子オーディオファンクラブ (AAFC)
分科会へのご案内 (会員による自主講座)

日時 / 2019年7月14日(日) 13:30~15:45

場所 / 久寺家近隣センター 多目的ホール

発表者 / 塚田 繁 全10回

参加自由・入場無料

問合わせ / 090-5422-5479 脇田 <http://www.aafc.jp/>